

指揮 牧村 邦彦



大阪生まれ。幼稚園時代、自分からピアノが弾きたいと言い出し親を困らせた。小学校校時代、ロンドン交響楽団の演奏するドヴォルザーク「新世界より」に感動。以来コタツを指揮台代わりに指揮者の真似をして親にこっぴどく叱られる。中学校の吹奏楽部でユーフォニアムを担当し裏メロの魅力にハマる。高校時代は音楽クラブ設立に奔走。大学時代、専攻のピアノより歌や楽器の伴奏に喜びを感じる。卒業後オペラの世界に飛び込み、副指揮者2年目のある日、本番指揮者の飛行機が間に合わず急遽本番デビュー。その後ウィーンに留学、夏の間は音楽祭に潜り込み歌劇場のスタッフのような顔をして過ごす。帰国後大阪のオーケストラの指揮者となるが、もっとオペラを追求したくなり東京の新国立劇場のスタッフからやり直す。以来全国のオペラ団体で指揮者や音楽スタッフとして活動、一時国内で1番沢山オペラを指揮する指揮者だった。今は大阪音楽大学と大阪芸術大学の先生もしている。

ソプラノ 内藤 里美

歌うことが小さい頃から大好きで、ひとり遊びと言えばラジカセに向かって歌うこと。小学校でコーラス部に入りさらに歌うことが好きになり、小さい頃からの夢「歌のお姉さん」になりたい気持ち根深まる。高校で音楽科へ進み、文化祭では仲間たちとミュージカルを上演したことにより、歌と物語の両方があふれるミュージカルやオペラの魅力に取り憑かれる。その後、国際コンクールの副賞でドイツの歌劇場に声をかけられ、オペラ「ヘンゼルとグレーテル」や「ばらの騎士」に出演し、ますます舞台の魅力にハマる。今はソプラノ歌手として舞台上に立ち、小学生を対象としたオペラへの出演や、子供向けのオーケストラコンサートへも出演したりと、子供の頃の夢だった、歌のお姉さんやソプラノ歌手として色々なことに挑戦し続けている。



テノール 清原 邦仁

音楽家の両親のもとで育ち、ポップスシンガーを目指し音楽大学に入学。その後、なぜか歌とお芝居が組み合わさったオペラにハマリオペラ歌手になる。ヘンゼルとグレーテルのお菓子の魔女から、王子様のような主役、カエルの役からおばちゃん&おじいちゃんの役まで幅広い役柄を演じる事で評価されている。これまでに演じた役柄は70!ミュージカルなどにも出演。その実力は本場イタリアでも高く評価され、大阪府からも2度表彰された。舞台を作る演出家としても活動中。今は舞台上に立つだけでなく大阪音楽大学の先生をしたり、プロを目指す若い歌手の指導をしたり、YouTubeでオペラについてのお話もしています。音楽と人が大好き!



ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

1988年4月「大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス」の専属管弦楽団として発足。定期演奏会は2020年12月で58回となった。名前のおと「オペラ」の演奏を得意とし、これまでに東京文化会館・滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール・新国立劇場等のオペラ公演でも管弦楽を担当した。過去に携わったオペラ公演が「三菱UFJ信託音楽賞」「文化庁芸術祭優秀賞」を受賞するなど、数々の受賞に貢献している。名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン・ユンソン、正指揮者に大勝秀也、牧村邦彦を擁している。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。《オペ管》の愛称で親しまれている。



知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度

文化芸術による子供育成総合事業
—巡回公演事業—

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

〈オーケストラ公演〉



文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

プログラム

《第1部》

●オープニング ワーグナー

／ 歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲

●楽器紹介

～弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話しと演奏を交えながら紹介していきます～

●オペラ・アリア プッチーニ

プロのオペラ歌手による歌声を、2曲続けてお届けします！

／ 歌劇「ラ・ボエーム」より “私が街を歩くと”
／ 歌劇「トゥーランドット」より “誰も寝てはならぬ”

●オペラ・デュエット レハール

／ 甘く美しいメロディーの重唱曲♪

／ 喜歌劇「メリー・ウィドウ」より ワルツ

《第2部》

●校歌合唱

～オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう!!～

指揮者体験コーナー ビゼー

君も未来のマエストロ♪オーケストラの指揮を体験♪

／ 歌劇「カルメン」より 前奏曲

●共演コーナー（下記の中から共演希望曲を1曲選択）

A. 吹奏楽・金管バンド等との共演の場合

- ・ウィルソン ／ 76本のトロンボーン
- ・ヤン・ヴァンデルロースト／ アルセナール
- ・スーザ ／ 星条旗よ永遠なれ

B. 合唱共演の場合

- ・杉本 竜一 ／ ビリーヴ
- ・久石 譲 ／ 君をのせて
- ・村井 邦彦 ／ 翼をください
- ・松井 孝夫 ／ マイ パラード

C. 手拍子リズムでオーケストラと共演～からだでリズム～

- ・ロッシーニ ／ 歌劇「ウィリアム・テル」より 序曲

●オーケストラ演奏 エルガー

／ 行進曲「威風堂々」第1番

ドイツの作曲家リヒャルト・ワーグナーの華やかで堂々とした旋律が印象的な作品でコンサートのオープニングを飾ります!!

プロのオペラ歌手による歌声を、2曲続けてお届けします！

／ 歌劇「ラ・ボエーム」より “私が街を歩くと”
／ 歌劇「トゥーランドット」より “誰も寝てはならぬ”

／ 甘く美しいメロディーの重唱曲♪

／ 喜歌劇「メリー・ウィドウ」より ワルツ

君も未来のマエストロ♪オーケストラの指揮を体験♪

／ 歌劇「カルメン」より 前奏曲

オーケストラと子供たちによる夢の共演☆

イギリスの作曲家エドワード・エルガーの代表作で、中間部に出てくる雄大なメロディはイギリスの第2の国歌としても親しまれています。

オーケストラの配置

オーケストラは、大きく4つのグループに分かれています。

①弦楽器

「弦」を弓で擦ったり、はじいて演奏する楽器
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープなど

②木管楽器

笛の仲間。学校で習う「リコーダー」もこの仲間！
フルート、クラリネット、オーボエ、ファゴットなど

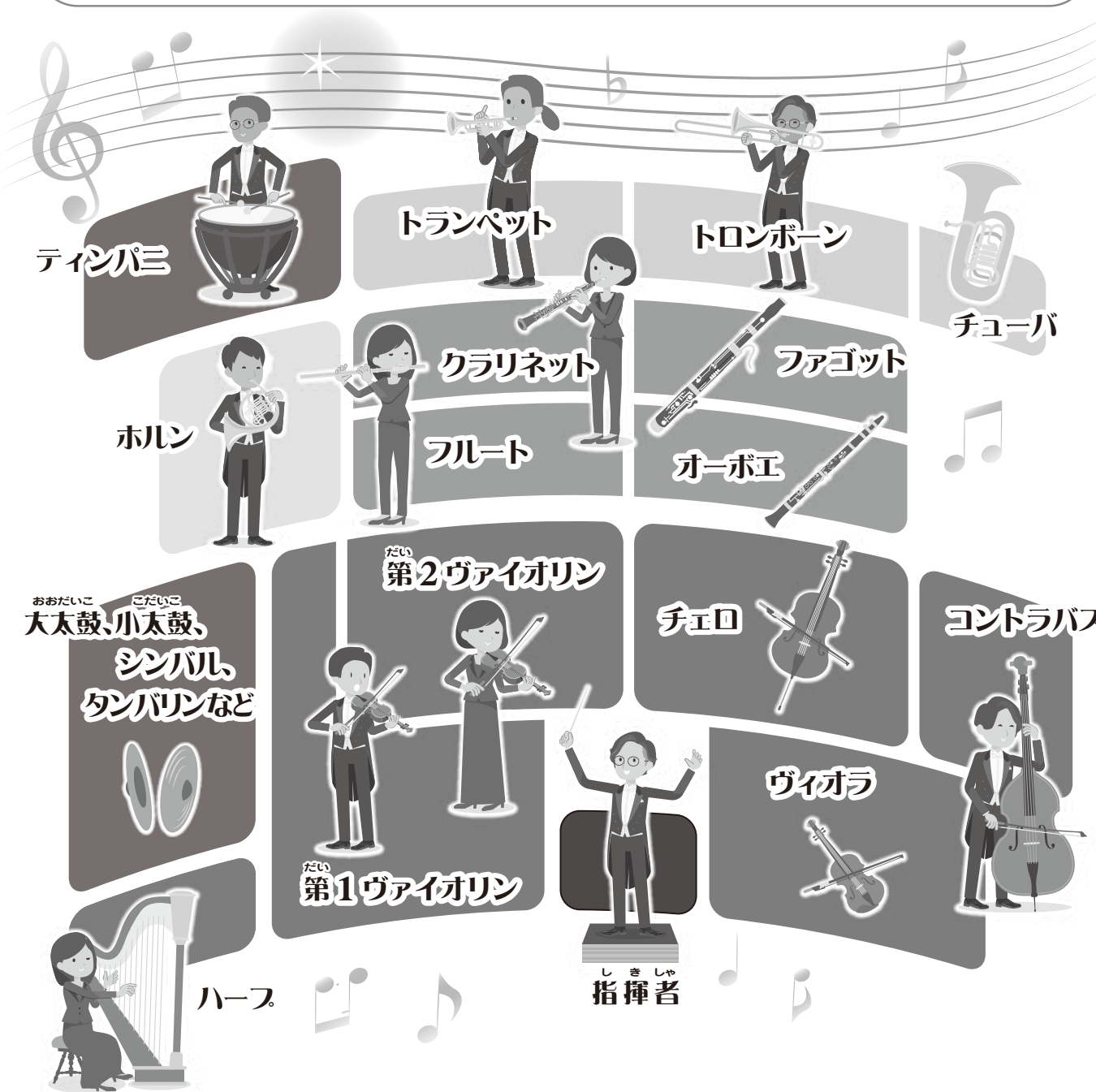
③金管楽器

ラッパの仲間。唇をブルブルと振るわせて演奏する楽器
ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバなど

④打楽器

打つ（叩く）、擦る、振るなどして音を出す楽器
ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、タンバリンなど

※会場の大きさや曲によって、使用する楽器は変わります。



※ 上記プログラムは一部変更になる可能性もあります。